

短期連載 (3回)

介護予防

嚥下障害とは……代々木病院の取り組み

言語聴覚士 阿部 直哉 (代々木病院)



介護保険では、介護予防には「運動機能向上」「口腔ケア」「栄養管理」が重要とされています。前回の「運動」に続き「口腔ケア」の中の嚥下機能について紹介します。

【嚥下(えんげ)障害とは?】

嚥下障害という言葉をご存知でしょうか? 最近は色々なテレビ番組などでも取り上げられる機会も増え、聞いたことのある人も多いかと思えます。嚥下障害とは脳卒中などにより食べ物の咀嚼(くわ)や飲み込みが困難になることをいいます。この嚥下障害が起ると窒息や低栄養、肺炎など様々な問題が起ってきます。特に食物の気管への流入は誤嚥(ごえん)といわれ、それが原因となっておこる肺炎のことを誤嚥性肺炎と呼びます。

嚥下障害を引き起こす疾患にはいろいろなものがあります。特に脳梗塞・脳出血などの脳血管障害、神経疾患や筋疾患などでは高い率で起ります。また加齢によって足腰が弱ってくると同じように喉の飲み込みの機能も弱ってしまつてくるともありません。近年では高齢者の死因第4位は肺炎でありその多くは誤嚥性肺炎であるとされています。

【検査と診断】

検査としては、造影剤(バリウムなど)を用いて飲み込みの状態をX線透視下に観察する嚥下造影検査があり、代々木病院でもこの検査を取り入れています。

【対処の方法】

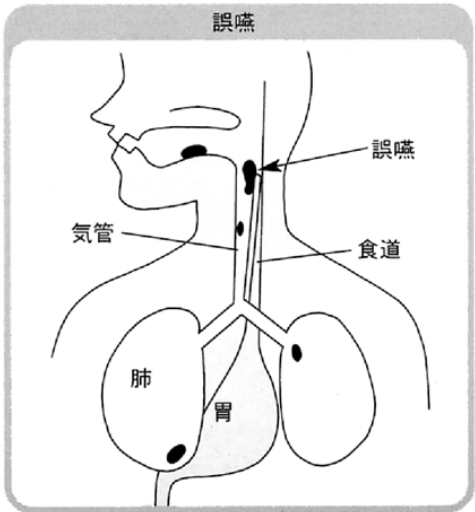
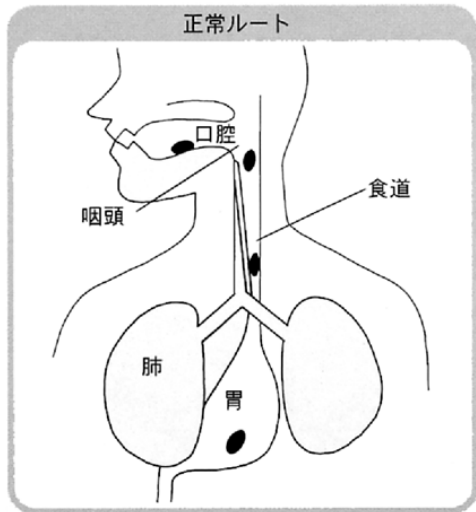
栄養摂取と誤嚥防止の観点から嚥下障害の程度により対処方法を

が誤嚥性肺炎であるともいわれています。

【誤嚥を疑う症状】

- ・ 肺炎を繰り返している
- ・ 脱水症状がある(口の中が乾燥している、尿量が少ない)
- ・ 痩せてきている
- ・ 食べ終わると声が変わっている(例) ガラガラ声
- ・ よく痰がからんでくる
- ・ 食物、水を飲んでると咳き込んでしまう
- ・ 飲み込んだ後に喉に違和感がある。または食べ物が喉に残っている感じがする

咀嚼・飲み込み困難な状態 経管栄養や訓練で改善図る



通常、食物は口から咽頭を通過して、食道へ運ばれます。ところが食物が誤って気管に入ってしまうことがあります。この現象を誤嚥と呼びます。

【図:「ステップ方式で学ぶ摂食・嚥下 リハビリテーション」(日総研・刊)より転載】

決定していきます。対処方法は大きく分けて経管栄養法、訓練があります。

経管栄養法は主に口から食べることでできない時の対処方法の一つです。経管栄養法にも様々な方法があり、障害の重症度などによって使い分ける必要があります。長期管理や在宅管理などでは胃に

管を通す胃瘻が有効でできない方もいらっしゃるかもしれません。しかし少しでも口から食事を摂取できる誤嚥されやすいのが「最終的から食事を摂取できる手段」。「口からは二度よくなる方は少なくない」と思われる方も「訓練としては、嚥下が多いこと」です。重度に陥る器官の筋力訓練、感覚や反射を促進して経管栄養法を取り入る訓練、嚥下パターンを練習する訓練など、栄養状態の改善を図る色々とあります。またごしください。

して少しずつ口からの摂取へと移行していきます。そのため最終的には口から食事が取れるようになるには経管栄養法は中止します。中には経管栄養法を中止できない方もいらっしゃるかもしれません。しかし少しでも口から食事を摂取できる誤嚥されやすいのが「最終的から食事を摂取できる手段」。「口からは二度よくなる方は少なくない」と思われる方も「訓練としては、嚥下が多いこと」です。重度に陥る器官の筋力訓練、感覚や反射を促進して経管栄養法を取り入る訓練、嚥下パターンを練習する訓練など、栄養状態の改善を図る色々とあります。またごしください。

来院時の咳エチケットにご協力ください

インフルエンザが急増中です。マスクをせずに咳やくしゃみをする、しきりにくしゃみをする、ティッシュペーパーで押さえる②使用後のティッシュペーパーは適切にゴミ箱に廃棄し、手を石鹸でよく洗うことにご協力ください。外出後は、うがいと手洗いをしましょう。

①咳・くしゃみが出る②熱がある③0度以上④鼻水が出る⑤喉が痛い⑥発疹があるなど⑦つども上記症状がある方は、マスクの着用にご協力ください。

また、①咳・くしゃみの時は、口や鼻を手で押さえるか、ティッシュペーパーで押さえる②使用後のティッシュペーパーは適切にゴミ箱に廃棄し、手を石鹸でよく洗うことにご協力ください。外出後は、うがいと手洗いをしましょう。

代々木病院感染委員会

へリコバクター・ピロリ除菌に対して2007年8月、新たに保険適応になった薬が増え、最近話題になってきました。今月号はへリコバクター・ピロリ(以下ピロリ菌)について、来月号はピロリ除菌に使う薬について特集します。



くすりの話あれこれ 34

へリコバクター・ピロリ(通称ピロリ菌)ってなに?

〈その1〉

中村めぐみ(薬剤師・たくみ外苑薬局)

の死亡率を減らすかどうかは確実にはわかっていません。しかしながら、ピロリ菌を除菌すると消化性潰瘍の再発を抑えられるという事は明らかです。胃潰瘍のある人の60~80%、十二指腸潰瘍のある人の90~95%がピロリ菌陽性です。ピロリ菌の除菌により胃潰瘍の再発も抑えられ、十二指腸潰瘍では再発率が0~20%まで軽減できるといわれています。

胃潰瘍・十二指腸潰瘍と診断された方は保険でピロリ菌の検査ができます。検査には胃カメラでとった胃の組織を必要とする検査(迅速ウレアーゼ試験、鏡検法、培養法)と胃の組織を必要としない検査(尿素呼吸試験、抗へリコバクター抗体測定など)があります。

へリコバクター・ピロリ菌は人間の胃の中に住んでいる細菌です。名前の由来はヘリコ(らせん)、バクター(細菌)、ピロリ(胃の出口・幽門)という意味です。ピロリ菌は胃の中に定着することから、経口感染と考えられます。口からの感染(保菌している親と乳児の離乳食の口移し)、もしくは糞便からの感染(汚染された水・食品を介した感染)が挙げられます。ピロリ菌が陽性であっても潰瘍のない人は過度のストレスや暴飲暴食を避けたり、禁煙するなどの日常生活の注意をすることにより潰瘍の発生は抑えられます。ピロリ菌と胃癌との関係では、胃癌